	1		1	別紙様式1
番	発行者の番号・略称			教科書名
号		第5学年	英語・509	NEW HORIZON Elementary English Course 5
観	2 ・ 東書	第6学年	英語・510	NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary
点			英語・609	NEW HORIZON Elementary English Course 6
	○ 「聞くこと	」については	,目標を達成す	ることができるよう, 次のよう
取扱内容	な学習活動が	取り上げられ	ている。	
				身近で簡単な事柄について、基
				た内容とイラスト等を結び付け
学習指導		活動	, 12/1/0	
要領の総	_		校でしたいこと	など,身近で簡単な事柄につい
財及び各				を参考にしながら聞いて、必要
教科の目		, 湿い云明寺 情報を得る活		で多句にしながり周v.C, 必安
教科の日	14	用報を待る台	到)	
	○「誰も。≻」。	したのいては	口無た法氏士	フェレゼズキストさ 次のトさ
等				ることができるよう,次のよう
	な学習活動が			
				通して、活字体で書かれた文字
			に発音する活動	
				な語句や基本的な表現で書かれ
			出を伝えるメモ	などを読んで,その意味を捉え
	る	活動		
	_			
				目標を達成することができるよ
	う, 次のよう	な学習活動が	取り上げられてい	いる。
	第5学年~誕	生日にほしい	ものや身近な人	について互いに紹介するなど,
	自	分の考えや気	持ちを伝え合うる	活動
	第6学年~行	きたい国に係	り, 訪れたい観	光地をたずねたり、そこででき
	る	ことに答えた	りするなど、短い	い会話をする活動
	○ 「話すこと	[発表]」に、	ついては、目標を	を達成することができるよう、
	次のような学	習活動が取り	上げられている。	
			-	のよさに関することなど、身近
		簡単な事柄を		
				いて最近の出来事や世界とのつ
				気持ちを話す活動
	. 6	7 7 C	, D), 1/2 ()	
	○ 「≛くこと	しについてけ	目煙を達成す	ることができるよう,次のよう
	な学習活動が			
				声で十分に慣れ親しんだ簡単な
		りりのファブ 句を書き写す:		ア く 力に負債が続しがた間事な
				分に慣れ親しんだ簡単な語句や
			なこ,ョ戸(1) 用いた例を参考し	
	左	平的な衣気を	用いた例を参考し	にして青く伯男
	○ 主体的,毕	舒的	バの宝田に次十	ス学羽への対応については、場
				る学習への対応については、次
			げられている。	し、サイナルの状型ナナギにフ
				し、おすすめの施設をたずねる
				ルタウンを使って好きな施設を
	***			ることにより、考えを広げたり
		めたりする活		>
				し、飼育員さんが作ったポスタ
				に身近でできることを発表する
			合わせることに	より、考えを広げたり深めたり
	す	る活動		
	○内容の構成・	排列について	は,次のような!	工夫がなされている。
1				

内容の

構成・

第5学年~ Unit 7において, 日本の場所について聞く活動を通して, 表

現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って行きたい都道府県に

ついてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で、観光案内

排列, 分量等	CMを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年~ Unit 2において、日常生活について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って一日の生活を紹介したう活動に取り組み、終末の活動で「週末の過ごし方カード」を書き、発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫	見合い
	 ○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは54、読むことは13、話すこと [やり取り] は68、ますこと [発表] は7、書くことは48の活動があり、ユニット券は8ユニット、総ページ数は106ページで、前回とほぼ同様となっている。 第6学年~聞くことは73、読むことは43、話すこと [やり取り] は51、ますこと [発表] は11、書くことは48の活動があり、ユニット券は8ユニット、総ページ数は106ページで、前回とほぼ同様となっている。 	数 上 舌数
使用上の	○ 「Over the Horizon」(全学年)では、学習内容やテーマをもとに、視野を広げるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。	<u>-</u>
配慮等	○ 単元の学習を見通す「Your Plan」(全学年)や,テーマ別の「Check Your Steps (全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができる。うな工夫がなされている。	
	○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全等年、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、歌アニメーションや実写映像を活用できる。うにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。	`
指導上の 配慮等	○ 地域素材については,5年「Unit 1 Hello,friends!」において,ウポポーで働く韓国人によりアイヌ文化について紹介する動画が扱われている。また,6年「Unit 6 Save the animals.」において,ボルネオ島と日本の関係について「旭山動物園」の取組が扱われている。	ŧ
に 應 守	○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、重画だけではなく、主体的に日本や世界について調べられる「Digital Map」や発表の際に役立つ思考ツールなどが収録されるなどの工夫がなされている。	
	○ 小中連携については、「Sounds and Letters」で読むこと及び書くことの打導を充実させるとともに、6年教科書巻末では、「Going to Junior High School」において、中学校での学習内容・方法を紹介する配慮がなされている。	
本市児童の学習の状況等	○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、3つのテーマ別8単元構成となっており、テーマごとに単元の学習を整理して発表する言語活動の充実が図られ、児童が主体的に助組むことができる目的・場面・状況を伴った言語活動を充実させている。	单
	○ 学習への関心・意欲が高まるよう、単元の終わりには、その単元に関連した外国の映像等が取り扱われ、言語の背景にある文化を理解し、児童の学びに向かう力を育くむよう構成されている。また、児童がスモールスラップで4技能5領域の力をバランスよく身に付けることができるよう言語活動の充実が図られ、別冊「My Picture Dictionary」を使って児童が言いたい単語を探すことができるような配慮もなされている。	り テ 吾

○ 追加のワークシートを作成することなく書くことについての指導ができるよう、書き込み等の活用スペースにゆとりがあるなどの配慮がなされている。また、児童が言語活動を行う目的を常に意識することができるよう、学習の中心となる言語活動と、チャンツなどそれを支える活動という役割を明確化した構成にするなどの配慮がなされている。

S		T		別紙様式1
番	発行者の番号・略称		教科書の記号・番号	教科書名
号		第5学年	英語・511	Junior Sunshine5
観	9 ・ 開 隆 堂	第6学年	英語・512	Junior Sunshine5 Word Book
点			英語・611	Junior Sunshine6
			英語・612	Junior Sunshine 6 Word Book
克拉力 索				ができるよう,次のよう
取扱内容		なり上げられてい		で第世れ東海について
				で簡単な事柄について, 容とイラスト等を結び付
学 羽 长 港			いて、理解した内	谷とイフスト寺を枯い竹
学習指導 要領の総		活動 1匆介めのきたい	強要ない 良足で	簡単な事柄について,短
要順の総 則及び各				間単な事例について, 型 がら聞いて, 必要な情報
 教科の目		、品等をイノヘド よる活動	なこと参与にしな	かり闻いて、必安な情報
類件の日	<u></u> 4	する位勢		
宗, 1 等	○ 「読むこと」	についてけ 目:	煙を達成すること	ができるよう, 次のよう
4		にりいては、日のより上げられている。		<i>が</i> (e るよ) ,
	- , , , , , , , , , , , , , ,		- •	付けることを通して,活
			の読み方を適切に	
	- '			や基本的な表現で書かれ
				で、その意味を捉える活
	動		, or c c burro	, c - /20/10 2 pe/c 3 la
	○ 「話すこと	[やり取り]」に~	ついては、目標をう	達成することができるよ
	う,次のような	:学習活動が取り.	上げられている。	
	第5学年~好き	な教科や身近な	人のできることに	ついて互いに紹介するな
	ど ,	自分の考えや気	寺ちを伝え合う活!	動
	第6学年~行き	たい国に係り,	そこでしたいこと	をたずねたり「行きたい
	国ク	'イズ」に答えた	りするなど、短いま	会話をする活動
				することができるよう,
]活動が取り上げ	-	
		•	·	自分の注文したいものに
			近で簡単な事柄を	
				休みの思い出や中学校で
	した	こいことについて、	自分の考えや気	時ちを詰す活動
		なっいては ロ	価 た 去 よ よ カ ァ	Katzla Wala
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•		ができるよう,次のよう
		スり上げられてい. この特別なロカド	_	れ親しんだ簡単な語句を
		7の行所な日なと。 : 写す活動	, 日戸(一方に頂)	40税しんに前年な品刊を
			田い出たど 辛声	で十分に慣れ親しんだ簡

	7 70	間の(金件のなる		
	○ 主体的・対	(4) おいつい (4) おいっぱん (4) かんしゅう (5) かんしゅんしゅう (5) かんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅんしゅん	実現に資する学習	への対応については、次
		動が取り上げられ		2 7.4 % C
			<u>=</u>	気に入りの場所をたずね
				気に入りの場所を紹介す
				,考えを広げたり深めた
		る活動		
	第6学年~単元	Eを見通した学習	課題を設定し、日	常生活での行動について
				ールについて伝え合うこ
	とな	くどを組み合わせ	ることにより、考	えを広げたり深めたりす
	る混	計動		
			次のような工夫:	
		•		方について聞く活動を通
内容の	して	., 表現に慣れ親	しんた後、字んだ	表現を使って自分のヒー

構成,排列量等	ローについてやり取りする活動に取り組み、終末の活動で「ヒーロー図鑑」を書く活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年~Lesson 6において、学校行事の言い方について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校生活の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活の思い出を発表し、思い出アルバムを作る活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは53、読むことは23、話すこと[やり取り]は47、話すこと[発表]は9、書くことは24の活動があり、ユニット数は8ユニット、総ページ数は138ページで、前回より約3%減となっている。 第6学年~聞くことは52、読むことは24、話すこと[やり取り]は49、話すこと[発表]は7、書くことは24の活動があり、ユニット数
	は8ユニット,総ページ数は138ページで,前回より約8%減 となっている。
使用上の	○ 「Story Time」(全学年)では、これまで学習した表現や語句を用いた短い読み物を掲載するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
配慮等	○ 1年間の学習を見通す導入ページ(全学年)や、巻末の「CAN-DO チェック」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
	○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、音声やクイズを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
指導上の	○ 地域素材については,6年「Lesson 2 Welcome to Japan.」において,日本 のイベントとして「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また,5 年「Story Time」において,北海道のスケート場とスキー場の画像が扱わ れている。
配慮等	○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、海外の同世代の子どもたちが英語で自分や生活のことを伝える様子や音声を充実させるとともに、学習テーマに即した言語材料を用いて海外の文化や生活習慣などを紹介する工夫がなされている。
	○ 小中連携については、「Let's check 3」で中学校の先生に向けた自己紹介 を作成するとともに、別冊「Word Book」で、小学校及び中学校でよく使 用される語句に星マークが付けられるなどの配慮がなされている。
本市児童の学習の状況等	○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、8つの単元のゴールとなる言語活動に向けて、言語材料を活用し、実際に英語を使用したやり取りが設定されており、相手意識、目的意識をもってコミュニケーション活動ができるよう、場面設定の工夫がなされている。
	○ 学習への関心・意欲が高まるよう、他教科や日常生活との関連を重視しながら、多様化する生活スタイルや人種などにも配慮された言語活動の設定になるよう配慮がなされている。また、「読むこと」の言語活動の充実として、各単元末に「Story Time」が設定され、教科書や別冊絵辞典「Word Book」では、757 語の語彙が扱われ、児童が知りたいことや言いたい言葉を探すことができる配慮もなされている。

○ 各単元の記録に残す評価を行う活動では、適切な評価をすることができるよう、5つの領域と3つの観点が示されるなどの配慮がなされている。また、各単元で、できるようになったことを把握したり、振り返ることができるよう、巻末に1年間を見通した「CAN-DO チェック」があり、自己評価を適切に実施できるなどの配慮がなされている。

		// H	#A +	別紙様式1
番	発行者の番号・略称		教科書の記号・番号	i
観号点	 15・三省堂	第 5 学年 第 6 学年	英語・513 英語・514	Crown Jr. 5 Crown Jr. My Dictionary
\		カ0 子子	英語・613	Crown Jr. 6
	○ 「聞くこと」	<u>については、目</u>		ができるよう,次のよう
取扱内容		なり上げられてい.		
	第5学年~誕生	E日や行きたい国:	など、身近で簡単	な事柄について、基本的
	な表	き現等を聞いて,	理解した内容とイ	ラスト等を結び付ける活
学習指導	動	The second materials	Wa 2 10 hor - Are	
要領の総				単な事柄について、短い
則及び各 教科の目		ううをイフストな う活動	とを参与にしなか	ら聞いて、必要な情報を
標、内容	 1寸 0) 伯勒		
等	○ 「読むこと」	については、目が	標を達成すること:	ができるよう, 次のよう
		なり上げられてい.		
				て,活字体で書かれた文
		う読み方を適切に		
				や基本的な表現で書かれ
	/~ 6	9年生の思い田は	どを読んで,そのカ	見味を捉える品動
	○ 「話すこと	[やり取り]」に~	ついては、目標をi	達成することができるよ
		:学習活動が取り」		
	第5学年~好き	な教科や地域の	魅力について互い	に紹介するなど,自分の
		や気持ちを伝える)
				り、楽しんだことに答え
	/こり	するなど、短い会	云話をする店動	
	○ 「話すこと	「発表」」について	ては、目標を達成っ	することができるよう,
		習活動が取り上げ!		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	第5学年~得意	まなことや自分た	ちの地域に関する	ことなど、身近で簡単な
		「を話す活動		
				学旅行や校外学習の思い
	出る 動	7 将米つさたい職業	兼について , 目分(の考えや気持ちを話す活
	到			
	○ 「書くこと」	については, 目	標を達成すること:	ができるよう, 次のよう
	な学習活動が用	なり上げられてい.	5 .	
				十分に慣れ親しんだ簡単
		音句を書き写す活動 	**	-to-lo (()) (Ha) - tu)
			-	, 音声で十分に慣れ親し た例を参考にして書く活
	動	- 間早な語句で基準	中的な衣気を用い	た例を参考にして書く佰
	39)			
	○ 主体的・対話	舌的で深い学びの:	実現に資する学習	への対応については,次
		計動が取り上げら		
				きたい国をたずねること
				所とそこでしたいことを
		こ合りことなとを; oたりする活動	四か日わせること	により,考えを広げたり
			課題を設定し、中	学校で力を入れたい教科
				,どんな中学校生活を送
	りた	こいか伝え合うこ	となどを組み合わ [、]	せることにより、考えを
	広じ	「たり深めたりすん	る活動	
	○ 内宏の様式	# 別にへいては	 次のような工夫?	がわせれている
		•		かなされている。 聞く活動を通して, 表現
内容の				て得意なことについてや
1	, , , ,			

構成· 排列, 分量等	り取りする活動に取り組み、終末の活動で、憧れの人を紹介して、その人の素晴らしさを知ってもらう活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第6学年~Lesson 5において、小学校の行事について聞く活動を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って小学校で一番の思い出を伝え合う活動に取り組み、終末の活動で、小学校生活を振り返って、みんなで思い出を共有する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
	○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは41、読むことは32、話すこと [やり取り] は47、話すこと [発表] は25、書くことは26の活動があり、ユニット数は7ユニット、総ページ数は122ページで、前回より約14%減となっている。 第6学年~聞くことは41、読むことは31、話すこと [やり取り] は44、話すこと [発表] は27、書くことは24の活動があり、ユニット数は7ユニット、総ページ数は122ページで、前回より約12%減となっている。
使用上の	○ 「ABC Fun Box」(全学年)では、音声で十分に慣れ親しんだ語句を扱い、 読むことや書くことの活動を積み重ねるなど、児童の学習意欲を高める工 夫がなされている。
配慮等	○ Unit 全体の学習を見通す「HOP」(全学年)や、まとめの言語活動を行う「JUMP」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
	○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、モデル動画や音声を活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
指導上の 配慮等	○ 地域素材については,6年「Lesson 2 We have Children's Day in May.」において,好きな地域の行事として「YOSAKOIソーラン祭り」及び「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また,5年「Unit 3 おすすめの場所を紹介しよう」において,行きたい場所として「知床」の画像が扱われている。
	○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、練習、コミュニケーション活動、異文化理解の資料等の音声・映像資料が視聴できるとともに、リンク先のワークシートが活用できるなどの工夫がなされている。
	○ 小中連携については、6年生の最後に「英語でこんなことができた!」を設け、自身の成長を振り返ることで、中学校での学習に生かすことができるなどの配慮がなされている。また、別冊「My Dictionary」では、「英語でできること【CAN-DO】」を設け、小学校の学習でできるようになることを示すことにより、中学校の学習への見通しをもつことができるよう配慮がなされている。
本市児童の	○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、年3回の各 Unit 後の言語活動に向けて、「Hop」で学習の見通しを立て、「Step」の中で4技能5領域の力を身に付けるようスパイ
学習の状況等	ラル式に学習し、「Jump」で学習した語句や表現から、自分で話す内容を 選択し、思考力・判断力を働かせながら表現できるよう工夫がなされてい る。

○ 学習への関心・意欲が高まるよう、スモールステップで学習活動を積み

	重ね、児童が英語で表現したくなるよう配慮がなされている。また、世界のことを知る「Hello, World!」や他教科で得た知識や情報を英語の授業においても生かせるような内容となるよう配慮がなされている。
その他	○ 単元で身に付けるべき力を明確にし、指導者と学習者が共有することができるよう、小単元ごとにねらいが設定されており、小単元の構成が一定であることから、学習の流れが分かりやすいなどの配慮がなされている。また、思考力とコミュニケーション力を育成することができるよう、児童にとって身近な場面を設定するなどの配慮がなされている。

77	### の ## ##### #### #### #### #### #### #### #### #### ##### ##### ##### ##### #### #### #### #### #### ##### ##### ##### ######		別紙様式1
番	発行者の番号・略称	使用学年・分野 教科書の記号・番号	教科書名
観号	17・教出		ONE WORLD Smiles 5
点	C [ONE WORLD Smiles 6
取扱内容	な学習活動が取 第5学年~時間	については、目標を達成することだり上げられている。 引割や行きたい場所など、身近で簡単 ま現等を問いて、理解した内容と	単な事柄について、基本
学習指導 要領の総 則及び各	活動 第6学年~つき	、表現等を聞いて,理解した内容と/ f 、たい職業や中学校の行事など,身近 い会話等をイラストなどを参考にした	で簡単な事柄について,
教科の目標,内容等	報を	:得る活動 については、目標を達成することだ	
	第5学年~日本	スり上げられている。 ×語と英語の音の違いに気付かせるこ ×れた文字の読み方を適切に発音する	
		『で十分に慣れ親しんだ簡単な語句ペ プラスの「思い出アルバム」などを記 計動	
	う,次のような 第5学年~夢の	[やり取り]」については,目標を遠 : 学習活動が取り上げられている。 O授業や行ってみたい都道府県につい	
	第6学年~夏休	トの考えや気持ちを伝え合う活動 、みに係り,絵日記の内容をたずねた たりするなど,短い会話をする活動	
	次のような学習	[発表]」については,目標を達成す 活動が取り上げられている。 この習慣や自分ができることに関する	
	な事 第6学年~簡単	4 所を話す活動 全な語句や基本的な表現を用いて夏かれて、 日かで、自分の考えや気持ちを話す	木みにしたことや将来の
	な学習活動が取	については、目標を達成することだれり上げられている。	
	書き 第6学年~中学	『記号ガイドなど,音声で十分に慣♪ ∶写す活動 ዸ校でしたいことなど,音声で十分に ○基本的な表現を用いた例を参考にし	こ慣れ親しんだ簡単な語
	のような学習活	らいで深い学びの実現に資する学習へ 活動が取り上げられている。	
	Ф, п-	Eを見通した学習課題を設定し,ほし 自分で作ったオリジナル・メニュー -ルプレイをすることなどを組み合ね Sげたり深めたりする活動	ーを使ってレストランの
	第6学年~単元でき	を見通した学習課題を設定し,行きることをたずね合うことや,夢の† であるとなたがね合うことや,夢の†	世界旅行を発表すること
内容の 構成・ 排列,	第5学年~ Les に慣 り取	排列については,次のような工夫かson 9 において,人物紹介について間れ親しんだ後,学んだ表現を使ってなりする活動に取り組み,終末の活動でなど,系統的で	聞く活動を通して,表現 て得意なことについてや 動で,憧れの人について

分量等	うな工夫 第6学年~Lesson 4において、日本の食べ物について聞く活動を通して、 表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本の文化を伝え 合う活動に取り組み、終末の活動で、日本の行事や文化を紹介 するポスターを描く、発表する活動へ展開するなど、系統的・ 発展的に学習できるような工夫
	○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは28、読むことは6、話すこと [やり取り] は21、話すこと [発表] は7、書くことは7の活動があり、ユニット数は9ユニット、総ページ数は140ページで、前回より約4%減となっている。 第6学年~聞くことは18、読むことは16、話すこと [やり取り] は14、話すこと [発表] は7、書くことは16の活動があり、ユニット数は8ユニット、総ページ数は140ページで、前回より約4%減となっている。
使用上の	○ 「Think」(全学年)では、話す内容やコミュニケーションについて気付きや思考を促すなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。
配慮等	○ 学びの見通しが立てやすいロードマップ(全学年)や,各単元の「Lesson をふりかえろう」(全学年)を設けるなど,児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。
	○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学年)や、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元において、二次元コードを掲載し、動画やワークシートを活用できるようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	○ 地域素材については、6年「Lesson 2 My town is wonderful.」の「Let's watch」において、旭川の冬まつり、ラーメンや旭山動物園が扱われている。また、5年「Lesson 6 Where do you want to go?」において、日本の行きたい場所として、北海道が取り上げられ、ラベンダーや石狩鍋について扱われている。また、名所・名物マップでは、北海道のボールパークやウポポイなどが1ページに渡り、紹介されている。
	○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、やり取り・発表の映像やチャンツ、会話・発表等の音声を見ることができるとともに、「まなびリンク」という学習に役立つ情報を集めたウェブサイトを公開する工夫がなされている。
	○ 小中連携については、文法用語を使わずに、学習してきた要素を組み合わせて、文構造への気付きを促す活動を充実させている。また、最後の単元では、「My Book」を作ることで中学校での自己紹介の授業にも活用できるよう、配慮がなされている。
本市児童の学習の状況等	○ 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むことができるよう、8つの単元のゴールとなる言語活動に向けて、学校生活に合ったテーマでペアやグループで取り組む活動を多く設けることにより、友だちとのコミュニケーションを通じて、思考や関わり合いを深め、相手に配慮しながら、よりよい対話を行うことができる工夫がなされている。
	○ 学習への関心・意欲が高まるよう、児童のやってみたい思いをできた実感につなげるため、分かりやすい活動で、無理のないインプットから徐々にアウトプットすることができるよう配慮がなされている。また、世界の文化や他の教科で学んだことを英語学習に生かすことのできるる内容になっているなどの配慮もなされている。

○ 指導者がイメージをつかんで指導することができるよう、活動の様子を表現した分かりやすいイラストが数多く使用され、巻末にワークシートがあり、追加のワークシートがなくても指導できる等の配慮がなされている。また、学習の流れを把握できるよう、単元ごとに、4技能5領域の力を身に付ける活動を分かりやすく配置し、英語に十分に慣れ親しんだ後、話す(やり取り、発表)・書く活動につなげるよう配慮がなされている。

	-W/		別紙様式
番		使用学年・分野教科書の記号・番号	
観号	38・光村	第 5 学年 英語・516 英語・616	
点		第6学年 英語・616 については、目標を達成することが	Here We Go! 6
取扱内容	な学習活動が耳 第5学年~誕生	については、目標を達成することだけり上げられている。 E日にほしいものや憧れの人など、基本的な表現等を聞いて、理解した。	身近で簡単な事柄につい
学習領別 関題 関及 のびの のお のお のお のお	びf 第6学年~1日 て,	ける活動 の生活や思い出の学校行事など, 短い会話等をイラストなどを参考し 報を得る活動	身近で簡単な事柄につい
等	な学習活動が耳	については、目標を達成することだり上げられている。	
	で記 第 6 学年~音声	て字と小文字を見て文字の名前を読むかれた文字の読み方を適切に発音でで十分に慣れ親しんだ簡単な語句で で十分に慣れ親しんだ簡単な語句で言言などを読んで,その意味を捉っ	する活動 や基本的な表現で書かれ
	う, 次のような	[やり取り]」については,目標を資 :学習活動が取り上げられている。 :な教科とその理由やオリジナル料3	
	るた 第 6 学年~行き	な数件とでの程由でオッシテルと こと、自分の考えや気持ちを伝え合う たい国に係り、その理由をたずねで りするなど、短い会話をする活動	う活動
	次のような学習	[発表]」については、目標を達成で 『活動が取り上げられている。 ごちができることや自分の憧れの人に	
	で 第 6 学年~簡 ⁶	所単な事柄を話す活動 単な語句や基本的な表現を用いて自己 こついて、自分の考えや気持ちを話っ	己紹介や動物が食べるも
	な学習活動が耳	については,目標を達成すること? スり上げられている。	
	だ領)魅力を伝えるパンフレットなど, ₹ ¶単な語句を書き写す活動 }の夢宣言など,音声で十分に慣れ	
	本自	」な表現を用いた例を参考にして書く	く活動
	のような学習活	ら的で深い学びの実現に資する学習へ 「動が取り上げられている。 こを見通した学習課題を設定しお気に	
		: や自分が作ったパンフレットを使っ : どを組み合わせることにより,考 : : 動	
	第6学年~単う こと こと	Eを見通した学習課題を設定し夏休る : や自分が書いた絵日記を使って夏付 : などを組み合わせることにより, 5活動	休みの思い出を発表する
内容の 構成・ 排列 分量等	第 5 学年~ Un にり する	排列については、次のような工夫だit 6 において、店や施設については 動れ親しんだ後学んだ表現を使って が活動に取り組み、終末の活動で、発動へ展開するなど、系統的・発展	聞く活動を通して,表現 道案内についてやり取り 理想の町について発表す

第6学年~ Unit 2において、日本の行事について聞く活動を通して、表 現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って好きな季節と行事を 伝え合う活動に取り組み,終末の活動で、日本の行事やその時 にできることを発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的 に学習できるような工夫 ○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは66、読むことは27、話すこと[やり取り]は16、話 すこと [発表] は11, 書くことは22の活動があり, ユニット数 は8ユニット、総ページ数は153ページで、前回より約5%減 となっている。 第6学年~聞くことは63、読むことは30、話すこと[やり取り]は13、話 すこと [発表] は15, 書くことは28の活動があり, ユニット数 は8ユニット、総ページ数は145ページで、前回より約11%減 となっている。 「世界の友達」(全学年)では、各国の小学生のメッセージを視聴し多 様な文化や価値観に触れるなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされて 使用上の いる。 ○ Unit の話題を自分のことに引き付ける「About You」(全学年)や、巻末 配慮等 の「All About Me」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組 むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって,読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学 年)、識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに、各単元にお いて、二次元コードを掲載し、アニメーションや音声を活用できるように する(全学年)など,使用上の便宜が図られている。 ○ 地域素材については, 6年「Unit 2 Welcome to Japan.」において, 日本 指導上の のイベントとして「さっぽろ雪まつり」の画像が扱われている。また,「I CTを活用しよう」では、北海道の小学校の例が扱われている。また、5 年「You can do it!3」において、ウポポイの画像が扱われている。 配慮等 ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、学 習に必要な音声や映像のほか、発表ややり取りの言語活動のモデル映像等 を見ることができる工夫がなされている。また,「ICTを活用しよう」 では、授業におけるICT機器の活用を紹介するなどの工夫もなされてい る。 ○ 小中連携については、6年巻末に「中学校に向けて英語の学習を続けて いこう!」を設け、中学校での学習内容・方法について示す配慮がなされ ている。また、6年巻末では、「All About Me」を作ることで、中学校での 自己紹介の授業にも活用できるよう配慮がなされている。 ○ 目的・場面・状況に応じて,互いの考えを適切に伝え合う力を育むこと 本市児童の ができるよう、3つのテーマ別8単元構成となっている。既習表現を振り 返る仕掛けが設定されており、思考・判断・表現しながら、「話すこと」 や「書くこと」の領域で発信できるよう構成され、互いの考えや気持ちを 学習の状況等 伝え合う言語活動の充実を図るなどの工夫がなされている。 学習への関心・意欲が高まるよう,世界各国で実際に生活する小学生の 映像を通し, 本物の情報から, 多様な文化や価値観に触れられるような配 慮がなされている。また、ストーリーアニメや別冊絵辞典「Picture Dictionary」 などを通して、意欲的に学習に取り組めるような配慮もなされている。 ○ 既習表現を生かし,豊かな言語活動を実現することができるよう,各 Unit における教室での実際の Small Talk のきっかけになるミニアニメが設定さ

れるなどの配慮がなされている。また、一年間の自分の学びが可視化できるよう、各学年の巻末に学習の成果が一覧できるシートを設定するなどの配慮がなされている。

JF.	※行士の玉□ mb+1-		別紙様式1
番号	発行者の番号・略称6 1 ・ 啓 林 館		教科書名 Blue Sky elementary 5
点			Blue Sky elementary 6
711	○ 「聞くこと」	については、目標を達成することが	
取扱内容		対り上げられている。	
	第5学年~誕生	<mark></mark> 上日にほしいものや行ってみたい国な	よど身近で簡単な事柄に
		いて基本的な表現等を聞いて, 理解し	、た内容とイラスト等を
学習指導	***	が付ける活動	カバー体がなままに
要領の総則及び各		きなものややってみたい部活動など, て,短い会話等をイラストなどを参考	
刺及い合		、,	まにしなかり闻いて,必
標,内容	<u>پر ۱</u> ۰۰	KIN TREIN WILL BU	
等	○ 「読むこと」	については,目標を達成することか	ぶできるよう, 次のよう
	な学習活動が取	対り上げられている。	
		レファベットの名前を読むことを通し	して、活字体で書かれた
		アの読み方を適切に発音する活動	さまもなまはべまさん
		『で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や 呼来の夢を伝える吹き出しのセリフな	
		す来の夢を伝えるめる山しのピック。 Bえる活動	ょこを訛んて,てり息外
	- X		
	○ 「話すこと	[やり取り]」については、目標を達	産成することができるよ
		よ学習活動が取り上げられている。	
		べたいものや自分の家までの最短ルー	
		るなど自分の考えや気持ちを伝え合う	
		fの住む地域に係り,必要だと思うも flを答えたりするなど,短い会話をす	
	注 [1を合んにリックはこ, 2017 云田でり	2日到
	○ 「話すこと	[発表]」については、目標を達成す	-ることができるよう,
	次のような学習	習活動が取り上げられている。	
		よの食べ物やアニメのキャラクターに	こ関することなど、身近
		育単な事柄を話す活動 ************************************)のはなっ、フェウェン
		単な語句や基本的な表現を用いて自分 O思い出について,自分の考えや気持	
	1文 0.	プ心い面に りいて、自力の考えて気法	
	○ 「書くこと」	については,目標を達成することか	ぶできるよう, 次のよう
	な学習活動が取	文り上げられている。	
		ぎちができることなど,音声で十分に	こ慣れ親しんだ簡単な語
		と書き写す活動	\) [III.]
		象に残ったできごとなど,音声で十分	
	一	可や基本的な表現を用いた例を参考に	- しく青く 石 期
	○ 主体的・対話	舌的で深い学びの実現に資する学習^	- の対応については、次
		舌動が取り上げられている。	7,1,74 (= - 1 (101) 91
	第5学年~単元	元を見通した学習課題を設定し、行っ	ってみたい国をたずねる
		こや,一緒に行きたい国の魅力を伝え	
		を組み合わせることにより,考えを立	5げたり深めたりする活
	動 第6学年~第三	こを見通した学習課題を設定し,中等	学校であってなたいこと
		1. を兄囲した子首ᇠ圏を設たし、中っ とずねることや、中学校を紹介してく	
		くことなどを組み合わせることにより	•
) する活動	
		・排列については、次のような工夫が	=
内宏の		nit 3 において,1日の生活について こ慣れ親したが終し党人だ実現な使。	
内容の 構成・		こ慣れ親しんだ後,学んだ表現を使っ り取りする活動に取り組み,終末の清	· · · · · ·
排列,		このいて発表する活動へ展開するなど	
1 1/1 / 4)	// //		- , / , / , / L / L / L / L

分量等 習できるような工夫 第6学年~ Unit 2において,季節ごとの日本の楽しみについて聞く活動 を通して、表現に慣れ親しんだ後、学んだ表現を使って日本で 楽しめるものを紹介し合う活動に取り組み,終末の活動で、日 本の魅力を発表する活動へ展開するなど、系統的・発展的に学 習できるような工夫 ○内容の分量については、次のようになっている。 第5学年~聞くことは100、読むことは21、話すこと[やり取り]は32、 話すこと「発表」は18、書くことは15の活動があり、ユニット 数は8ユニット、総ページ数は152ページで、前回より約10% 増となっている。 第6学年~聞くことは100、読むことは22、話すこと[やり取り]は24、 話すこと [発表] は26, 書くことは30の活動があり, ユニット 数は、8ユニット、総ページ数は152ページで、前回より約10 %増となっている。 「Friends around the World」(全学年)では、世界の人々とのコミュニケー 使用上の ションに欠かせない異文化理解を促すなど児童の学習意欲を高める工夫が なされている。 配慮等 ○ 見通しをもって学習が進められる Unit 全体の GOAL (全学年) や、巻末 の「Can-Do List」(全学年)を設けるなど、児童が主体的に学習に取り組む ことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり(全学 年), 識別しやすい配色を用いたり(全学年)するとともに, 各単元にお いて、二次元コードを掲載し、アニメーションや単語クイズを活用できる ようにする(全学年)など、使用上の便宜が図られている。 ○ 地域素材については、6年「Unit 2 Welcome to Japan.」において、ご当 指導上の 地グルメとして「ジンギスカン」が扱われるとともに、「Step 2 Listen and Do 1」において、北海道の雪まつりと寿司が扱われている。 配慮等 ○ ICTの活用については、1人1台端末を活用した学習活動として、言 語材料の使用場面や状況が分かるアニメーションやゴールイメージをもて るような参考映像,外国の生活や文化を紹介する映像等を見ることができ るとともに,個別学習への対応として,チャンツやクイズ,アクティビテ ィのヒントが用意されているなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携については、慣れ親しんだ表現を音声とともに声に出したり、 音声に合わせて文字を指で追ったりする活動を通して、徐々に英語を読む 力を身に付けられるよう配慮がなされている。また, 慣れ親しんだ英文を 書く活動を通して、書くときのルールを学ぶことができるよう配慮がなさ れている。 目的・場面・状況に応じて、互いの考えを適切に伝え合う力を育むこと 本市児童の ができるよう、コミュニケーションの目的・場面・状況を設定した活動を 通じて、思考力を養うとともに、8つの単元ゴールとなる言語活動に向け て、各 Step で学習したことや思考したことをまとめる言語活動が設定さ 学習の状況等 れなどの工夫がなされている。 ○ 学習への関心・意欲が高まるよう、外国の人たちが、自分たちの生活や 国について紹介する映像や、異文化と日本とのつながり等を紹介するペー ジがあり、多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育めるよう配 慮がなされている。また、各 Step に Activity として「話す」活動が設定さ れており、児童の話したいと思う気持ちを叶える配慮もなされている。

○ 単元で身に付けるべき力を指導者と学習者が共有することができるよう、 小単元ごとにねらいが設定されており、巻末には、「Can-Do List」が設けられ、1年間の学びが可視化できるよう配慮されている。また、各単元の導入では、言語材料の使用場面や、児童が目指すべきゴールのイメージを把握できるよう視覚化されているなどの配慮がなされている。